

平成21年3月期 決算説明会

株式会社城南進学研究社(4720)

 **城南予備校**

城南コベッツ

成績保証のある個別指導

河合塾マナビス

次世代ゼミ コアインズ
FINES

城南WEBスクール

くぼた
のうけん
WEBスクール

95%の教科書に対応する

城南
マナビックス

小中生向けWEB学習ナビ

くぼた
のうけん
自由が丘教室

平成21年6月4日

会社沿革

昭和57年	9月	各種学校城南予備校の経営を目的として株式会社城南進学研究社を設立
昭和61年	1月	東京都町田市に町田校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
	4月	教科別学力別クラス編成を導入、チューター制度を採用
昭和63年	1月	神奈川県藤沢市に藤沢校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成元年	4月	教務社員による教務兼任制度の発足
平成5年	1月	神奈川県横浜市西区に横浜校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成7年	1月	神奈川県横浜市金沢区に金沢文庫校を開校(対象:高校1年生～高校3年生)
平成8年	1月	神奈川県厚木市に厚木校を開校(対象:高校1年生～高校3年生)
平成10年	1月	東京都目黒区自由が丘に自由が丘を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成11年	1月	東京都立川市に立川校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
	4月	日本証券業協会に店頭登録
平成12年	1月	東京都武蔵野市に吉祥寺校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成13年	1月	東京都豊島区に池袋校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成15年	4月	個別指導コースを全校舎に併設
平成16年	2月	東京都世田谷区(三軒茶屋)および神奈川県川崎市(溝の口)に個別指導コースの独立教室を開校
平成18年	1月	千葉県柏市に柏校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成18年	3月～	東京都・神奈川県・千葉県に個別指導教室31教室、FC(個別指導教室)教室2教室、
	翌年3月	小中学教室2教室を開校
平成19年	4月～	神奈川県に個別指導教室4教室、FC(個別指導教室)教室3教室、小中学教室1教室を開校
	翌年3月	河合塾マナビス 2校(大森、八王子)を開校
平成20年	4月～翌3月	FC(個別指導教室)教室9教室開校
	12月	小中学教室2教室(自由が丘教室、青葉台教室)を次世代ゼミ ファインズとしてリニューアル
平成21年	2月	くぼたのうけんWEBスクール開校、くぼたのうけん自由が丘教室開校、河合塾マナビス高崎校開校
	3月	城南WEBスクール「城南マナビックス」発売開始、河合塾マナビス木更津駅前校開校

会社概要

(平成21年3月31日現在)

- ・ 商 号 株式会社城南進学研究社(JOHNAN ACADEMIC PREPARATORY INSTITUTE,INC.)
- ・ 設 立 昭和57年(1982年)9月16日
- ・ 資 本 金 655百万円
- ・ 従 業 員 数 203名(出向者、講師、契約社員等の臨時雇用者は含みません。)
- ・ 本 社 所 在 地 神奈川県川崎市川崎区駅前本町22番地2
- ・ 主 な 事 業 内 容 予備校および進学教室の経営
- ・ 発行済株式総数 8,937,840株
- ・ 株 主 数 799名
- ・ 教 室 数 下記参照

城南予備校

東京都	5校舎
神奈川県	5校舎
千葉県	1校舎
計	11校舎

城南コベッツ

成績保証のある個別指導

直営教室	東京都	16教室
	神奈川県	27教室
	千葉県	1教室
	計	44教室
	FC教室	東京都
神奈川県		6教室
千葉県		3教室
埼玉県		2教室
広島県		1教室
静岡県		1教室
計	14教室	

次世代ゼミ コーパス FFINES

東京都	1教室
神奈川県	2教室
計	3教室

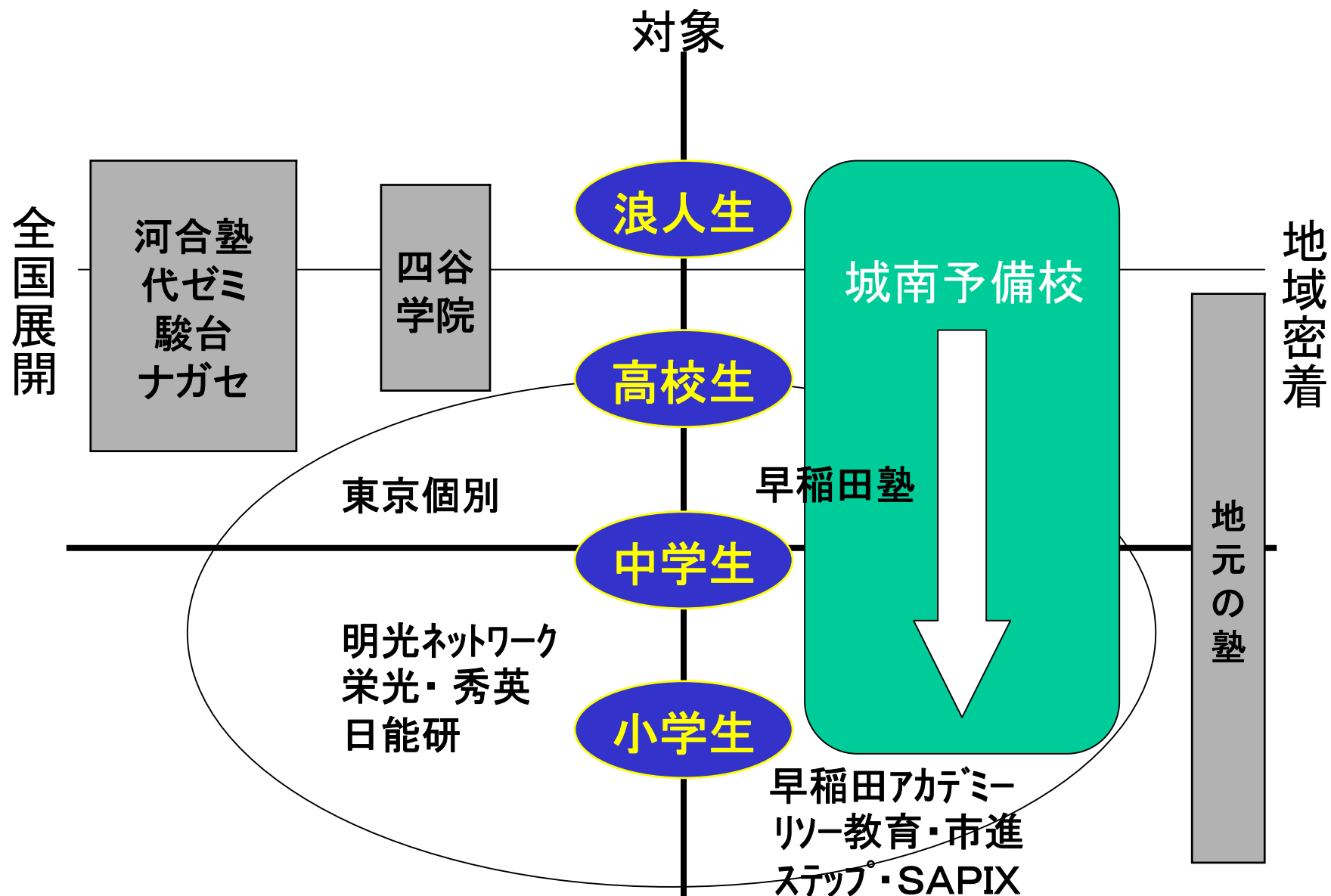
※神奈川の1教室は6月開校

河合塾マナビス

東京都	2校
東京以外	3校
計	5校

城南のポジショニング

株式会社城南進学研究社



大学受験事業(予備校)部門の特長

- **講師→教科内容の指導**

- ハイレベルの講師陣
- 教科の統一性(講師による指導内容のバラツキを排除)
- 講師体制(職員講師、非常勤講師)
- 職員講師は毎週授業研修

- **チューター→学習方法・進学面の指導**

- 社員チューター(学生チューターは使わない)
- マニュアルの整備・実践的な研修
- 生徒との信頼関係を基盤にした営業力

- **フェロー→個人指導による補習**

- 城南OB・OG

個別指導コースとの
併用が可能

個別指導部門の特長

■ 「講師」と「チューター」のW体制

■ 定期テスト+25点保証システム

公立中学在籍生を対象に、定期テストの得点向上を保証するシステム

■保証期間内に保証得点に到達しなかった場合、保証期間終了後の翌期間(4ヶ月間)保証対象教科の通常授業料(週2回分)を免除。

■ インターネット学習システム「城南マナビックス」の導入

小中学校で使用している13の教科書に対応。
効率よく予習復習が可能。

■ 定期テスト対策問題集の準備

学校別個人別の定期テスト対策問題集を作成。
勉強会を実施し、直前対策を行う。

その他の事業について

- 中学高校受験事業
 - 次世代ゼミ ファインズ



- 映像教育事業
 - 河合塾マナビス



- IT教育事業
 - 城南WEBスクール
 - ・くぼたのうけんWEBスクール
 - ・城南マナビックス
 - くぼたのうけん
 - ・くぼたのうけん自由が丘教室



平成21年3月期 決算

校舎／教室数の推移

※各期末日現在

	H19年3月	H20年3月	H21年3月
予備校部門 (高校／高卒／個別)	13	12	11
個別指導部門 (個別専門直営)	50	52	44
個別指導部門 (個別専門フランチャイズ)	2	5	14
小中学部門	3	4	3
合計	68	73	72

生徒数の推移

※単位：人

	H19年3月	H20年3月	H21年3月
予備校部門 (現役高校生)	9,007	6,511	5,429
予備校部門 (高校卒業生)	1,466	1,100	957
個別指導部門 (個別専門直営)	1,459	1,844	1,967
小中学部門	94	170	167
合計	12,025	9,626	8,520

売上高の推移

※単位：百万円

	H19年3月	H20年3月	H21年3月
予備校部門 (現役高校生)	4,512	3,540	2,991
予備校部門 (高校卒業生)	1,017	798	684
個別指導部門	814	1,092	1,118
小中学部門	32	54	59
その他	46	59	39
合計	6,423	5,545	4,892

平成21年3月期(損益計算書)

※単位:百万円

科目	H20年3月期	H21年3月期	増減額	増減率
売上高	5,545	4,892	-653	-11.8%
売上原価	4,686	4,481	-205	-4.4%
売上総利益	858	411	-447	-52.1%
販売費及び一般管理費	983	1,334	351	35.7%
営業損失	125	923	798	638.4%
営業外収益	254	44	-210	-82.7%
営業外費用	24	19	-5	-20.8%
経常利益または経常損失(-)	104	-897	-1,001	-
特別利益	54	60	6	11.1%
特別損失	115	340	225	195.7%
税引前当期純利益または 税引前当期純損失(-)	43	-1,176	-1,219	-

売上原価

※単位:百万円

科目	H20年3月期	H21年3月期	増減
教材費	257	265	7
人件費	2,351	2,239	-112
経費	2,077	1,976	-101
賃借料	1,436	1,343	-92
水道光熱費	133	129	-3
消耗品費	93	102	9
旅費交通費	103	99	-4
減価償却費	132	105	-27
その他	178	195	16
合計	4,686	4,481	-205

販売費及び一般管理費

※単位:百万円

科目	H20年3月期	H21年3月期	増減
広告宣伝費	395	695	299
人件費	300	317	16
募集費	24	26	1
消耗品費	12	11	-1
減価償却費	46	49	2
その他	203	234	30
合計	983	1,334	350

営業外収益・費用

※単位:百万円

科目	H20年3月期	H21年3月期	増減
1. 営業外収益			
受取利息配当金	32	17	-14
投資有価証券売却益	175	-	-175
受取手数料	13	11	-2
受取賃貸料	18	9	-8
その他	14	5	-8
合計	254	44	-209
2. 営業外費用			
投資事業組合運用損	19	6	-12
貸倒引当金繰入額	-	7	7
その他	4	12	7
合計	24	19	-4

特別利益・損失

※単位:百万円

科目	H20年3月期	H21年3月期	増減
1. 特別利益			
貸倒引当金戻入額	54	-	-54
固定資産売却益	-	33	33
子会社清算益	-	27	27
合計	54	60	6
2. 特別損失			
固定資産除却損	2	29	27
減損損失	65	134	69
校舎再編成損失	48	29	-18
投資有価証券評価損	-	120	120
その他	-	25	25
合計	115	340	224

平成21年3月期(貸借対照表)

※単位:百万円

(資産の部)	H20年3月期	H21年3月期	増減	(負債の部)	H20年3月期	H21年3月期	増減
流動資産	1,581	1,092	-489	流動負債	850	1,052	201
現金及び預金	707	622	-85	買掛金	9	10	0
有価証券	436	30	-406	未払金	360	602	241
その他	437	440	2	前受金	279	256	-22
固定資産	4,676	4,184	-491	その他	200	182	-17
有形固定資産	2,561	2,236	-325	固定負債	432	492	59
建物	1,011	890	-120	退職給付引当金	101	123	21
土地	1,415	1,246	-169	役員退職慰労引当金	330	330	0
その他	135	99	-35	負債合計	1,283	1,544	261
無形固定資産	72	86	14	(純資産の部)			
投資その他の資産	2,041	1,861	-180	資本金	655	655	0
投資有価証券	268	221	-46	資本剰余金	652	652	0
敷金及び保証金	1,516	1,360	-155	利益剰余金	5,128	3,628	-1499
貸倒引当金	-9	-16	-7	自己株式	-258	-297	-38
その他	265	295	-29	その他有価証券評価差額金	-28	-3	24
				土地再評価差額金	-1,173	-902	271
				純資産合計	4,975	3,732	-1242
資産合計	6,258	5,277	-981	負債純資産合計	6,258	5,277	-981

キャッシュフロー

※単位:百万円

	H19/3	H20/3	H21/3
営業CF	-204	-123	-541
投資CF	112	519	89
財務CF	-244	-59	-70
期末残高	835	1,166	622

※平成19年、平成20年は連結です。

※単位:百万円

	H19/3	H20/3	H21/3
設備投資	329	121	214
減価償却費	183	179	154

平成22年3月期 業績予想

売上高予想の前提条件

- 新規出店教室

- 個別指導専門教室(F C) → 16教室開校(期末:30教室)

- 5月以降の入学者数 対前年実績

- 予備校

- ・高1、高2、高卒生 100%

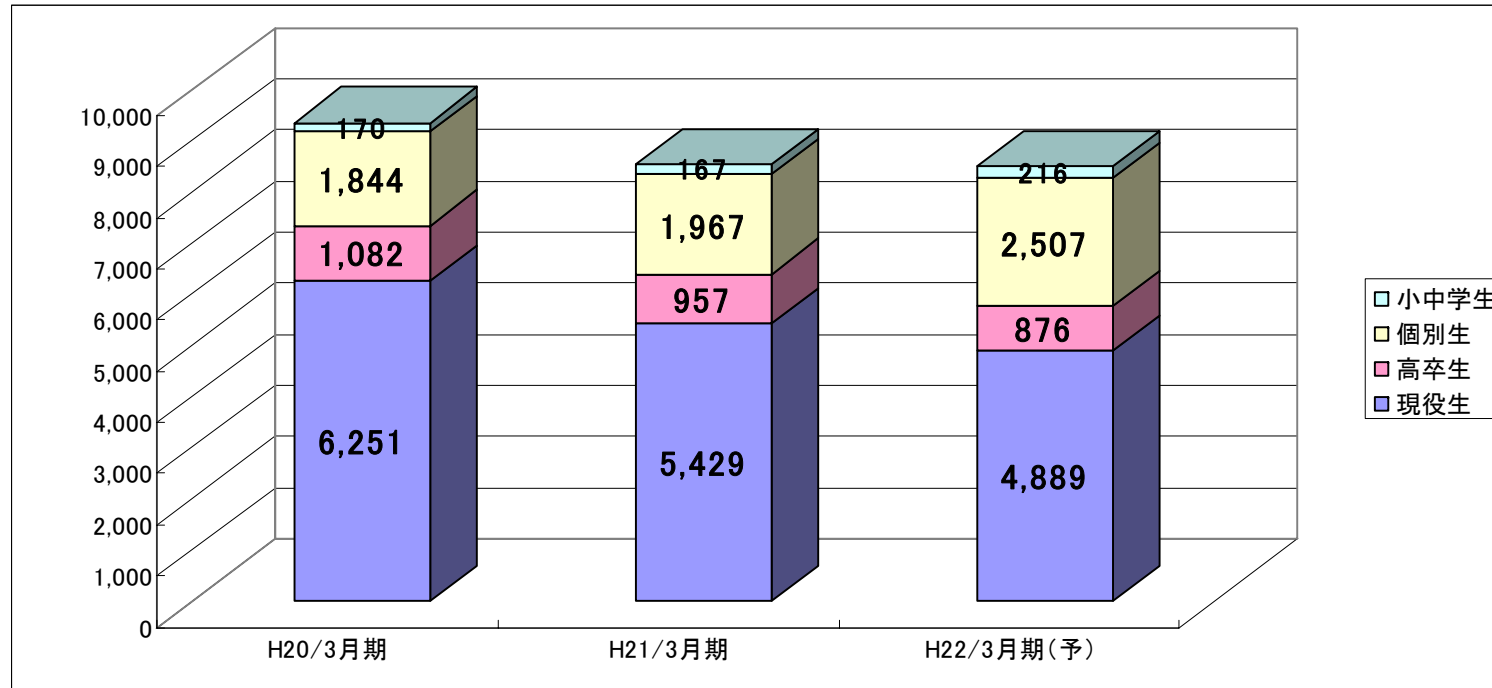
- ・高3 97%

- 個別指導専門教室(直営)

- ・ 130%

予想生徒数

※期中平均受講者数
※単位:人



	H20/3月期	H21/3月期	H22/3月期(予)
現役生	6,251	5,429	4,889
高卒生	1,082	957	876
個別生	1,844	1,967	2,507
小中学生	170	167	216
計	9,348	8,520	8,488

売上高の推移

※単位:百万円

	H19年3月	H20年3月	H21年3月	H22年3月(予)
現役生	4,512	3,540	2,991	2,736
高卒生	1,017	798	684	621
個別生	814	1,092	1,118	1,548
小中学生	32	54	59	109
その他	46	59	39	117
合計	6,423	5,545	4,892	5,133

費用の推移

売上原価

※単位:百万円

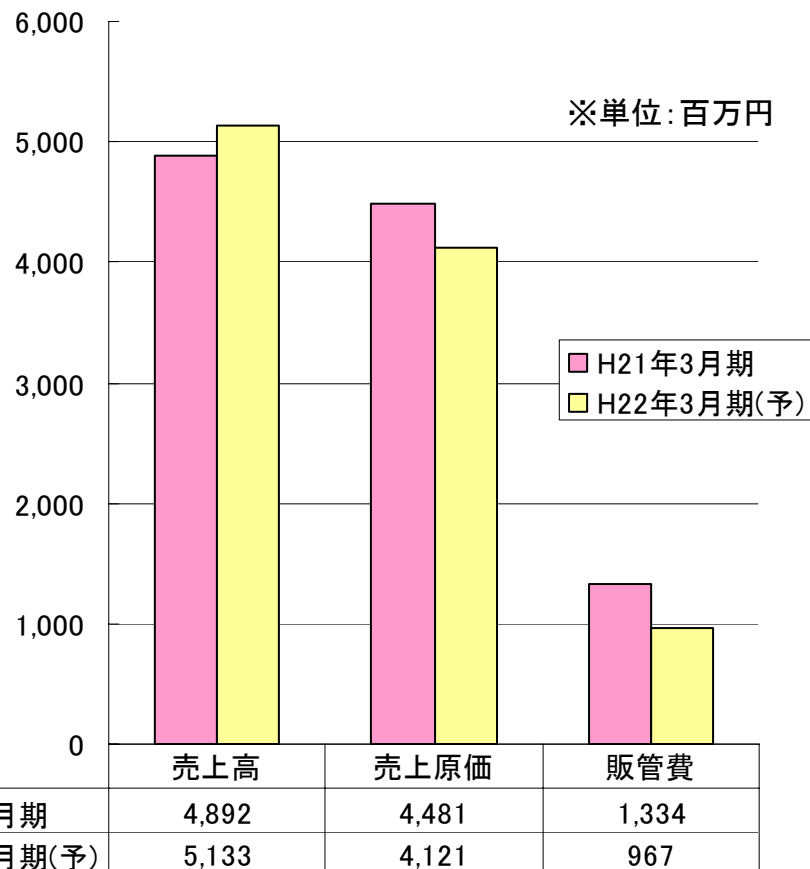
科目	H20年3月期	H21年3月期	H22年3月期(予)	増減
教材費	257	265	274	9
人件費	2,351	2,239	2,035	-205
経費	2,077	1,976	1,812	-165
賃借料	1,436	1,343	1,210	-134
水道光熱費	133	129	117	-13
消耗品費	93	102	68	-35
旅費交通費	103	99	95	-5
減価償却費	132	105	81	-24
その他	178	195	238	43
合計	4,686	4,481	4,121	-360

販売費および一般管理費

科目	H20年3月期	H21年3月期	H22年3月期(予)	増減
広告宣伝費	395	695	310	-386
人件費	300	317	345	27
募集費	24	26	12	-15
消耗品費	12	11	12	1
減価償却費	46	49	50	1
その他	203	234	236	2
合計	983	1,334	967	-368
総計	5,670	5,815	5,089	-727

平成22年3月期 業績予想

- ◇ 売上高 5,133百万円
- ◇ 経常利益 107百万円
- ◇ 税引前当期純利益 107百万円



※単位:百万円

	H21年3月期	H22年3月期(予)
営業利益	-923	44
経常利益	-897	107
税引前当期純利益	-1,176	107

今後取り組みと方針について

今後の取り組みと方針について

• 予備校部門

■ 内部体制の強化

- ・授業外での課題演習の強化
- ・社員講師の研修と育成
- ・チューター(担任)研修増強



合格実績の向上

■ 多様化するニーズへの対策

- ・進研ゼミスクーリングコース
- ・推薦AO対策コース
- ・進研模試解説講義
- ・個別指導コースとの併用(中・下位層対策)



顧客満足度の向上

■ 他社とのコラボレーション

- ・Z会のカリキュラム・教材の使用



顧客層拡大

■ 校舎再編成



収益力の向上

今後の取り組みと方針について

● 個別指導部門 ～ 様々なニーズへの対応 ～

■ 直営事業

- ・定期テスト+25点保証システム
- ・城南マナビックス
- ・定期テスト対策問題集作成



・他社との差別化
・小中学生の拡大

■ フランチャイズ事業

前期は静岡、広島へ進出！

- ・既存オーナーの複数教室開校推進
- ・法人へのアプローチ強化
- ・既存商圏(東京・神奈川)外への進出



目 標
今期16教室開校

■ 映像教育事業(河合塾マナビス)

前期は群馬高崎、千葉木更津へ進出！

- ・部活・学校行事への柔軟な対応
- ・地方のニーズへの対応



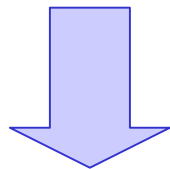
既存商圏外への
進出

今後の取り組みと方針について

● 小中学部門

■ 「次世代ゼミ ファインズ」へ加盟

- ・合格実績
- ・ブランド力を活用



中学受験生の拡大

- ・昨年12月、自由が丘、青葉台の2教室をファイ
ンズブランドへリニューアル
- ・武蔵小杉教室は、本年6月にファイ
ンズへ

- ・小中学生の増加
- ・中学の受験生が増加したことによる客単価の上昇

今後の取り組みと方針について

● IT教育部門

■ 乳幼児教育へ進出

くぼたのうけん

くぼたのうけん
WEBスクール

ライブ授業
自由が丘教室の開校

■ 城南マナビックスの発売

・小中学生向けのWEB学習システム

2008年12月より個別指導教室にてサービス提供開始。
定期テスト対策として積極的に推進中。
2009年3月には一般向けに発売開始。

13社の教科書に対応
したのは業界初



個人だけでなく、学習塾など法人への営業強化

IRお問い合わせ先

株式会社 城南進学研究社
取締役管理部長：北村 次人

TEL:044-246-1951

e-mail:info@johnan.co.jp

本資料は、平成21年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は平成21年6月4日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。